

鹿児島でも一

斉調査始まる

隠れ水俣病

【出水―鹿児島県】鹿児島県は「隠れ水俣病」を初めて調査することになり、十五日不知火海沿岸住民の健康調査を一斉に始めた。

調査対象は出水、阿久根（旧脇本村）両市と出水郡高尾野、東長

島の二町住民一万七千四百五十七世帯、六万一千四百七十人。全住

民の八二・八割に当たる。

調査は健康状態、乳幼児の出産状況、この十一二十年間の魚介類の摂取状況、治療法など四十三項目にわたり、アンケート方式で、

今月中に完全回収の方針。この調査の結果から、来年二月に約一万六千人の検診対象者を選び、五月には水俣病の疑いのある人を精密検査する。この一連の調査は熊

本、鹿児島両大学、県医師会などの協力で行なわれる。